

お客様本位の業務運営に係る2020年の成果指標（KPI）

PGIMジャパン株式会社（以下「当社」）は、「お客様本位の業務運営に係る基本方針」に基づき、お客様サービスの向上に取り組んでおります。特に、適切な商品提案と情報開示の充実に力を入れており、それらを継続的に評価、モニターするため、セミナーの参加人数と、日本語の各種レポートの公開本数をKey Performance Indicator（KPI）として設定しております。以下に、2020年の結果をご報告いたします。

投資家向けセミナー参加人数

当社では、投資家の皆様への情報提供サービスとして、投資セミナーを開催しています。例年は、クラスルーム形式で行っていたセミナーを、2020年については、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、ウェビナー形式に振替えて行いました。このため、2020年については、セミナー参加人数に代わり、ウェビナーの視聴回数をKPIとしてご報告いたします。

オンライン開催となったセミナーですが、PGIMグループがカバーする様々な資産クラス、運用戦略に関する知見を投資家の皆様と共有し、お客様のニーズに寄り添った投資運用サービスの提供を目指すという当初の目的に変わりはありません。

| 上段：出席者数 下段：開催回数 | グローバル 債券 | 国内 債券 | グローバル 株式 | グローバル 不動産 | マルチアセット 他 | 合計 |
|--------------------|--------------------------|----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 2019年 | 0 | 0 | 38 (1) | 31 (2) | 277 (4) | 346 (6) |
| 2020年* | 144 (2) | 0 | 124 (1) | 562 (5) | 201 (2) | 1031 (10) |

*2020年については、ウェビナー視聴数と開催回数を記載

出所：PGIMジャパン 2020年12月31日現在

ソートリーダーシップ、マクロ経済および市場分析レポート数

当社では、エコノミスト、ストラテジスト、ポートフォリオ・マネージャーといった運用プロフェッショナルが、超長期的な市場の課題を取り扱ったソートリーダーシップ、長期的な投資の視点および短期的な市場動向についての考え方を各種レポートにまとめて提供しています。PGIMグループ各社が発行するレポートをタイムリーに日本語でわかりやすくご紹介することで、お客様に投資判断材料をできるだけ多くご提供できるよう努めております。

| | グローバル 債券 | 国内 債券 | グローバル 株式 | グローバル 不動産 | マルチアセット 他 | 合計 |
|--------------|-------------|----------|-------------|--------------|--------------|------------|
| 2019年 | 97 | 8 | 3 | 5 | 4 | 117 |
| 2020年 | 99 | 4 | 10 | 17 | 8 | 138 |

出所：PGIMジャパン 2020年12月31日現在